



令和4年度 砂防・急傾斜管理技術者資格試験

公益社団法人 砂防学会

昭和57年以降における1年間の平均土砂災害発生件数は千件を数え、令和3年も42都道府県で土砂災害が発生し、全国どこでも土砂災害対策への適切な対応が強く求められています。こうした人命の保全等に直接携わる技術者には、溪流や斜面及び対策施設の把握・評価、対策の立案・設計や実施手順の策定など広範かつ確実な知識と豊富な経験並びに公益に関する高い倫理が求められています。

このような状況の下、国土交通省では「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格」の登録制度を創設し、資格取得者の関係業務への活用を推進しているところです。

公益社団法人砂防学会では、砂防に関する豊富な経験、高度な専門的知識・能力と高い倫理観を有する砂防技術者を育成、認定するために、『砂防・急傾斜管理技術者資格試験』を平成27年度より実施しており、本資格は、現在、国土交通省が認定する砂防・急傾斜分野における計画・調査・設計・点検・診断業務の登録資格となっています。

多くの方々の挑戦をお待ちしています。

試験の概要

- 一次試験（多肢選択式・経験論文）
 - 砂防・急傾斜関係業務に関する知識の確認
 - 午前部（50分）：基礎的知識問題（多肢選択式10問）
 - 午後部①（100分）：専門的知識問題（多肢選択式30問）
 - 午後部②（80分）：経験論文（記述式1,500字以内）
- 二次試験（口頭試問）
 - 一定の実務経験と業務の管理・統括能力の確認
 - 適格性についての口頭試問（面接方式）

受験資格

- 学歴制限なし
- 経験年数

砂防・急傾斜地崩壊対策（雪崩対策を含む）関係業務に関し7年以上の実務経験を有する者で、実務経験年数のうち2年以上の指導監督的（管理的な立場）実務経験を有する者
- 一部試験の免除
 - 過去の一次試験合格者
 - 技術士・技術士補（河川、砂防及び海岸・海洋部門）の保有者
 - 一級土木施工管理技士の保有者

詳しくは「手引き」をご覧ください

受験料

- 一次試験

● 一般	12,000円（税込み）
● 砂防学会正会員	10,000円（税込み）

但し、一次試験のうち基礎的知識問題（多肢選択式）及び専門的知識問題（多肢選択式）免除の場合の受験手数料は以下のとおりとする

● 一般	10,000円（税込み）
● 砂防学会正会員	8,000円（税込み）
- 二次試験 7,000円（税込み）

試験スケジュール

受付期間

一次試験

2022年4月1日（金）～5月31日（火）

※当日消印有効

二次試験

2022年8月17日（水）まで

※当日消印有効

試験日

一次試験

2022年6月25日（土）11時開始

（10時20分から受付）

試験地 仙台・東京・長野・京都・福岡

二次試験

2022年9月24日（土）・25日（日）

のいずれか

試験地 京都・福岡

2022年10月1日（土）

試験地 東京

結果通知

一次試験

2022年7月下旬

二次試験

2022年10月下旬

詳細は

「公益社団法人 砂防学会」

のホームページにてご確認ください

⇒ <https://jsece.or.jp/sssmeqs/>

